

会議議事録（要旨）

1 会議名	第2回 長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	平成23年2月16日（水曜日）午後2時00分から午後3時30分
3 開催場所	長岡市役所6階 第一委員会室
4 出席者名	<p>【協議会】</p> <p>池津会長、松本委員、大橋委員、土田委員、田橋委員、佐藤委員、鈴木義朗委員、小林委員（代理：藤澤様）、西田委員（代理：山川様）、藤井委員、風間委員、小川委員、松川委員、渡邊委員（代理：本間様）、山本委員</p> <p>【事務局】</p> <p>安達交通政策課長、外3名</p>
5 欠席者名	小林委員、鈴木延明委員
6 議題	<p>(1) 平成23年度事業計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡駅～和島地域の増便 ・長岡駅～寺泊地域の夜間増便 ・地域内路線（公共交通空白地域等） <p>(2) 平成23年度歳入歳出予算（案）について</p> <p>(3) 協議会の規約改正について</p>
7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題(1)～(3)は、事務局説明のとおり承認された。
8 審議の内容（要旨）	
会長	<p>昨年、国の事業仕分けにより本事業を一旦廃止し、より効果的な支援策に見直すという判定がだされました。現在、国は新たな事業への見直しを行っている最中であり、先週、自治体関係者や交通事業者を対象とした事業説明会が開催されました。詳細については、現在最後の詰めの作業を行っているところだと聞いています。</p> <p>このような状況ですが、本協議会としては、いずれの場合でも事業が執行できるような作業を進めるとともに、予算の確保をしておく必要があります。</p> <p>それでは、議事に入る前に国で大きな見直しが進められている事業の概要につきまして、ご説明をお願いします。</p>
委員	追加資料「地域公共交通確保維持改善事業について」について説明。

【議事】	<p>議事 (1) 平成 23 年度事業計画 (案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡駅～和島地域の増便 ・ 長岡駅～寺泊地域の夜間増便 ・ 地域内路線 (公共交通空白地域等)
事務局	資料 1「平成 23 年度 事業計画 (案)」、別添資料について説明
委員	寺泊の夜間増便の試験運行は平成 24 年 9 月までとなっており、和島地域の増便の試験運行は平成 24 年 3 月までとなっています。この違いはなんですか。
事務局	<p>寺泊線は、現在、国庫補助路線となっています。今回、与板線を寺泊まで延伸すると、既存の「寺泊線」として運行することになります。国庫補助路線の補助期間は 10 月から 9 月までとなっていますので、この期間に合わせたものです。</p> <p>一方、和島地域のジャンボタクシーによる乗り継ぎ便については、どのような事業で補助採択されるのかまだ決まっていないことから、現段階では協議会の予算年度である来年 3 月までとしたものです。</p>
委員	試行運行するうえでは 1 年が一つのスパンかと思しますので、補助制度の枠組みが決まれば 1 年ということは考えていると解釈していいでしょうか。
事務局	はい。半年で終了するという考えではありません。
委員	長岡市地域公共交通総合連携計画の追加は考えられるでしょうか。
事務局	昨年度連携計画を定めまして、その中で運用していきたいと考えています。必要なものが新たに出てくれば追加も考えられると思います。
委員	<p>連合中越では、高齢者の免許返納制度推進を市政要望のなかにあげさせてもらいました。新潟県の中でも実施している市町村が増えてきましたので、公共交通の利用促進という意味で、この協議会でも考えていただければと思っています。</p> <p>もう一点ですが、増便を考える前に定時性の確保が整っていないのではないのでしょうか。長岡市内の越路橋、蔵王橋、黒条地区、長生橋の 4 地区の渋滞が特に冬場激しくなっています。越路橋、蔵王橋についてバス専用レーンや優先信号を設ければ、定時性が少しは確保できるのではないかと思います。</p> <p>増便等の充実を図るのは結構ですが、いつバスが来るのか、どれくらい遅れてくるのかわからない状況では、利用促進を阻害する要因になると思います。そのようなところも計画のなかに入れていただければよりいっそう良い計画になると思いますのでご検討願います。</p>

事務局	<p>高齢者免許返納制度は、所管している市民活動推進課と調整しながら、実施に向けて検討していきたいと思えます。</p> <p>定時性確保については、バス専用レーンを作るには道路改良が必要になり、実施は難しく、すぐにはできません。当面はバス位置情報システム、携帯電話によってバスが今どこにいるのか分かるシステムの導入に取り組んでいきます。</p>
委員	<p>小島谷駅前発の増便についても、蔵王橋の渋滞で学生が始業に間に合わないという事のないよう、よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>長岡西病院へのバスが不便でしたので、中央循環線の見直しは大変良かったと思えます。</p>
委員	<p>料金に関する事業が無いとあらためて感じました。県内の他市で高齢者を対象として料金割引をしているところがいくつかあります。今日の資料にもありますが与板から 460 円、寺泊から 770 円になっています。大きくなった長岡市の遠方から中心部に来る方が来やすいように将来的に何とかならないものでしょうか。平成 24 年 1 月にアオーレがオープンすることに関連させて、高齢者が中心部に来やすい料金面でなんとか出来ないものでしょうか。</p>
事務局	<p>料金に関してはバス事業者としても採算性という問題があります。市としてもバス事業者と協議しながら、低廉化に向けて進めていければと考えています。</p>
委員	<p>福祉デマンドの関係で寺泊の料金を調べました。通勤定期だと月約 30,000 円で小島谷が約 25,000 円です。高齢者の透析患者がこのバスを使っています。</p> <p>公共交通はきめ細かく、通勤・通学と福祉は違うレベルで考える必要があります。ニーズのある所については太い線をシフトしていき、利用の少ない所についてはデマンド的な公共交通にシフトしていかないといけないと思えます。アオーレのオープンを目標に、合併した長岡市全体の公平感というか不平等感を払拭するために、きめ細かな対応が必要だと思えます。これからはオンデマンドの考えを導入しないと公共交通は難しいのではないかと感じています。</p>
事務局	<p>採算の取れない所や日に数便しかこない所は、当然きめ細かい対応が必要になってくると考えています。その対応としてタクシー等を使ったオンデマンドという形を今後考えていく必要があると思えます。</p> <p>議事（2）平成 23 年度歳入歳出予算（案）について</p>
事務局	<p>資料 2 「平成 23 年度歳入歳出予算（案）」について説明 （議事（1）（2）について事務局案で承認を得る）</p>

	<p>議事（３）協議会の規約改正について</p> <p>事務局 資料３「長岡市地域公共交通協議会規約の改正（案）」について説明 （議事（３）について事務局案で承認を得る）</p> <p>事務局 本日ご審議いただいた内容を踏まえ、国の補助事業の詳細が決まりましたら更に 国と協議調整を行い、次回の協議会においてあらためてご説明したいと考えており ます。</p> <p>次回の協議会は平成２２年度の事業報告、収支決算についてもご審議いただき たいと考えておりますので、７月頃を予定しております。日時が決まりましたら改め てご案内いたします。</p> <p>以上をもちまして第２回協議会を終了します。</p>
--	--